

企業概要

株式会社 DTSインサイト

<事業内容>

- 組み込みソフトウェア/IoTシステム開発
- ハードウェア・FPGA・LSI開発
- 組み込み開発支援ツール・サービス提供

企業概要

企業名 : 株式会社 DTSインサイト
設立年月日 : 2001年6月 (1972年3月創立)
所在地 : <本社>
 〒151-0053
 東京都渋谷区代々木4-30-3 新宿MIDWESTビル6階
 TEL : 03-6756-9400 FAX : 03-6756-9401
 URL : <https://www.dts-insight.co.jp/>
 <九州オフィス>
 〒812-0013
 福岡県福岡市博多区博多駅東1-17-25 KDビル7階
 TEL : 092-452-2100 FAX : 092-452-2104
資本金 : 2億円
年商 : 70億5,800万円 (2020年3月実績)
従業員 : 372名 (2020年4月1日現在)
代表者 : 代表取締役社長 浅見 伊佐夫
 代表取締役常務 鴨林 英雄
主要取引先 : 主要自動車メーカー、主要自動車部品メーカー
 (自動車業界のみ記載)
自動車関連の実績 : ■有 (製品 : Flashライター, ICE, RAMモニタ等)
 (受託 : 車載向けECUソフトウェア開発, システムブート解析等)
過去に実績有 (製品 :)
無
交通アクセス : JR博多駅の筑紫口より徒歩4分
 筑紫口の出口 (東1または東6) より正面の筑紫口中央通りを進む。進行方向左手の福岡県福岡東総合庁舎の先、茶色のビル7階。

<事業拠点>

本社 (新宿)

高田馬場第一オフィス

高田馬場第二オフィス

中部支店

大阪オフィス

九州オフィス

スローガン

Our insight, Your value.

見えないものを“可視化”する お客様のニーズを“かたち”にする

行動規範

社名の由来である「洞察力」「物事の本質を見抜く力」を磨くことで、技術やノウハウを最大限活用し、お客様に最高のサービスを提供します。

自動車産業への取組

我々は組み込み機器の開発支援ツールをベースとし、車載通信から車載ソフトウェアまでのエンベデッドシステムをはじめ、走行データ蓄積のためのクラウドシステムまで、車載分野のシステム開発・運用を最適なソリューションでご提供します。

<自社製品>

車載システムの高度化・複雑化に対応し、最新の開発環境を始め品質の妥当性検証や不具合解析など、作業の負荷軽減を図るツールをご提供しています。

- ・ECU内蔵RAMリアルタイム計測システム、製造ライン向けフラッシュメモリプログラマ、CAN データロガー、トレーサビリティ管理ツール (機能安全規格対応支援ツール)、デバッグ支援ツール (JTAG-ICE)、動的テスト/解析ツール、Armマイコン対応高速データモニタリングツール、ソフトウェア構造分析ツール

<九州オフィス 車載向け受託開発>

- ・ボディ系ECUのソフトウェア開発
- ・駐車支援システムECUのソフトウェア開発
- ・ADASシステムのソフトウェア開発、性能検証
- ・高速データロガー開発
- ・次期車載機器搭載SoC仕様調査

博多で開発しています。
お気軽にご相談ください！



Arm® コアマイコンに対応

高速データモニタリングツール

EVRICA (エヴリカ)



- ✓見える! 内蔵RAMやI/Oの見えないデータをグラフや値で表示!
- ✓速い! 最速1点あたり6.5μsecのサンプリング!
- ✓簡単に接続! JTAG/SWD 最小2ピンで接続するだけ!
- ✓すぐに動く! ユーザープログラム変更不要!

こんな方にオススメです

- 制御システム等において、通常見えないRAM (変数、パラメータ) の変化を確認、検証したい
- ダイナミックにデータを確認しながら動作をチェックしたい、不具合を解析したい
- シリアルポートからの出力では遅すぎて、十分なデータが得られない
- データを取り出すために、プログラム変更や大がかりな計測器接続が必要

DTSインサイトの

組み込み開発サービス

レガシーマイコンから最新のarmV8・RISC-Vまで、幅広く対応

実績多数

SHからArm、RTOSからLinuxへの移行

OSS移植

時々ブートで発生するエラーの解析

Zynq・PetaLinuxカスタマイズ、コンサルティング

カスタムIoTシステム構築・コンサルティング

FPGA画像ストリーミング転送

メモリ・ストレージ・通信パフォーマンス計測

SoC先行調査

組み込み開発ツールメーカー30年のノウハウをサービス化



企画段階からリリース後の障害解析まで、組み込み開発のプロフェッショナルが解決します。ご要望に応じてサービスをカスタム出来ますのでお気軽にご相談ください。

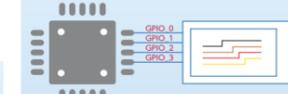
概要

Arm® Cortex®コアベースのMCUから、指示値、制御値などのメモリ内データを抜き出し、ユーザーシステム動作に影響を与えずに連続表示、ファイルに保存します。



活用事例

従来の手法 (オシロロ/ロジアナを使った手法)



GPIO空き端子を使って計測。空き端子数は少なく、ソース改変/ビルド/ダウンロード/測定を繰り返す必要がある。

仮想GPIOを使ったデータ測定の効率化

EVRICAを使った手法!



多bitの仮想GPIO (変数) を定義してEVRICAでまとめて測定
 【×リット】
 ・GPIO空き端子不要
 ・繰り返しのソース改変不要
 ・オシロロ/ロジアナ不要

特徴・強み (セールスポイント)

組み込み開発ツールメーカーのノウハウを生かした質の高い組み込み開発サービスで、各方面から評価をいただいております。